



東部教育事務所社教便り『社窓No.54』

令和5年度安芸郡市連合婦人会 R5年9月 総会及び研修会



東部教育事務所（文責：井上）
安芸市矢ノ丸1-4-36

TEL：0887-34-3591・FAX：0887-34-3592
E-mail：310304@ken.pref.kochi.lg.jp

令和5年5月16日（火）に東洋町地域福祉センターにて標記の会が開催され、東洋町から安芸市まで74名の参加がありました。この会は、県連合婦人会の方針にそって安芸郡市内の連絡連携を図るとともに、社会の変化に対応できる婦人会活動の推進と地位向上を図ることを目的としています。

総会では、役員改選が行われました。
令和5・6年度の役員は右記の通りです。

今年は、ランチタイムも3年ぶりに復活し、昼食後に研修会が行われました。



会長	竹内 由美（安田町）
副会長	山下 福恵（室戸市）
副会長	安岡 祥子（奈半利町）
会計	濱渦 佳汝（北川村）
監査	竹林 愛（東洋町）
監査	谷 奈津子（安芸市）

【講演】「世界初!本格営業運行中!!DMV」

阿佐海岸鉄道株式会社 取締役 総務部長 おおたに なおよし 大谷 尚義 氏

令和3年12月25日に運行を開始した「DMV（デュアル・モード・ビークル）」についての紹介とDMVを活用した地域活性の方略についてのご講演がありました。大谷氏は「世界初」のDMVの本格営業運行の話題性を生かし、阿佐東地域の観光資源として地域を活性化させるように取り組んでいます。

過疎に伴い、公共交通の存続が全国各地で大きな課題となっています。阿佐東地域においても同様の状況があったなか、今ある鉄道設備を存続した上で、今よりも利便性のある乗り物を検討し、DMVの運行につながった経緯をお話してくださいました。DMVが地域の特性に合った乗り物であったこと、厳しい運行条件をクリアできたこと、何よりも地域住民の協力や想いが込められていることがDMV運行開始の後押しになったそうです。阿佐東地域の魅力を世界に広げるために、観光の起爆剤としての新たな公共交通DMVの可能性を期待し、日々運行しています。

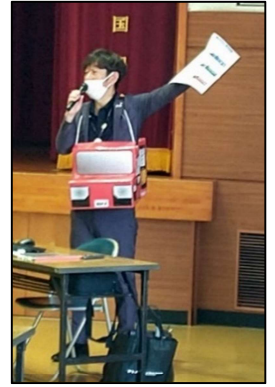
「新たな公共交通の礎をつくる」を目標に、阿佐海岸鉄道から新たな乗り物 DMV を導入し、運行しています。DMVはバスと鉄道の2つの形態を備えた乗り物で、元々あった線路をそのまま活用しつつ、線路と線路をつなぐ区間はマイクロバスで道路を走行しています。DMVを運転するには、2つの免許を有する運転技能をもっていなくてはならず、また運行するにあたっては国交省が提示する条件にクリアすることが前提です。阿佐東地域にてDMVを導入することで、地域住民の通勤・通学の足が確保できることのみならず、今ある資源を活用するため燃料費やメンテナンス費等の経費が抑えられ経営改善につながることで、災害時には被災地への救援物資を輸送し交通機能を維持することといった大きなメリットが生まれました。

DMVは1～3号まであり、阿佐東地域・徳島県・高知県それぞれの特色を生かした

デザインが施された車両であり、観光の起爆剤として、地域の活性化につなげたいと考えています。訪れた方が、地域を知り、体感し、地域で食事や宿泊をしてもらって、この地域がにぎわうことを期待しています。

今後も運行を通して、情報発信やイベントの企画、DMV視察希望者の受け入れなど、地域の活性化につながる取組を推進していきたいです。

阿佐海岸鉄道株式会社 取締役 総務部長 おおたに なおよし 大谷 尚義 氏 講演より



参加者からは、DMVが地域にもたらす可能性について知ることができ、今後乗客として体験し、自分の地域以外にも足を延ばしてみたいという感想が得られました。

【実技】「レクリエーション」 社会福祉法人 東洋町社会福祉協議会

事務局長 かめい たいぞう 亀井 泰三 氏 事務局次長 たにおか ちえみ 谷岡 智恵美 氏

研修会の後半は、全員参加のレクリエーションタイムでした。

イスを並べて大きな円を作り、亀井氏の掛け声に合わせて、いくつかのレクを楽しみました。脳トレにもなり、会員の地域を超えたふれあいの場にもなり、会場が笑顔で包まれました。

レクの最後は、じゃんけん大会が開催され、大賑わいでした。皆さん、手土産をもらい、ニコニコでレクを締めくくりました。

レクの一部のご紹介と、体験された会員さんの様子をご報告します。

① 「心・気持ちを合わせる」レクリエーション

「よ～」の掛け声にあわせて、一つ拍手をします。掛け声に合わせて、拍手の回数を増やしていきます。最後は皆さんで成功したことに拍手しました。



② 「歌と動作を一緒に行う」レクリエーション

童謡「うさぎとかめ」に合わせて、手を動かします。最初は動作、続けて歌を合わせていきます。両方の作業を同時に行うことで脳が活性化されます。うさぎとかめの2番を歌いながら手を動かし、1曲歌い終えたときには会場中から達成感が生まれました。

③ 「お隣の人と協力しながら行う」レクリエーション

自分と自分のお隣の膝を交互にタッチします。慣れたところに、動きを少しずつたしていき、「難しいね～」「出来た!」と言いながら、自然と、お隣さんと交流が生まれました。



東洋町社会福祉協議会 事務局長 かめい たいぞう 亀井 泰三 氏 による実技より

研修会では、地域で活躍している方を講師に迎え、皆さん熱心にメモを取りながら話を聞いていました。また、普段会えない会員の方と情報交換をするなど、横のつながりも大切に感じました。

このような研修会が今後も続いてほしいです。次回は、令和6年2月27日に予定しています、管内交流研修会です。